

新型コロナウイルス感染症の影響により 収入減少のあった世帯の方へ 個人向け資金貸付の特例措置を行っています

●受付期間は7月31日(金)まで

個人向け緊急小口資金等の特例として、据置期間の延長等を行い、緊急の貸し付けを行っています。相談・申請については、事前に電話かファックスでお申し込みください。
【問合せ】区社会福祉協議会(高田馬場1-17-20) ☎(5273)9191・FAX(5273)3082・http://www.shinjuku-shakyo.jp/へ。

◇緊急小口資金◇

【対象】新型コロナウイルス感染症の影響により、休業等で収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯
【貸付限度額】10万円以内(学校等の休業等の影響を受けている場合、20万円以内)
【利子】無利子
【返済期限】2年以内(据置期間1年)

◇総合支援資金(生活支援費)◇

【対象】新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少や失業等で生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯
【貸付限度額】▶2人以上…月20万円以内、▶単身…月15万円以内
【貸付期間】原則3か月以内
【利子】無利子
【返済期限】10年以内(据置期間1年)

新型コロナウイルス感染症の影響により 業況悪化が見込まれる中小企業の事業主の方へ 特別融資(無利子)を行っています

●受付期間は9月30日(水)まで

中小企業者への特別融資として、商工業緊急資金(特例)のあっせんを行っています。要件や必要書類等詳しくは、お問い合わせください。

【対象】新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に売上減少等業況悪化をきたしている、または悪化が見込ま

れ、資金繰りが必要となる中小企業者

【貸付限度額】500万円以内

【利子】全額補助

【貸付期間】5年以内(据置期間6か月含む)

【信用保証料】全額補助

※融資の相談・申請については、事前に電話でお申し込みください。

経営に関する窓口相談体制 を強化しています

●相談員を増員して対応しています

右記日程で実施している商工相談に、特別商工相談員として新たに中小企業診断士を4名配置しています。ぜひ、ご活用ください。

【相談日時】月～金曜日(土・日曜日、祝日を除く)

午前9時～12時・午後1時～4時

【相談場所】区立産業会館(西新宿6-8-2、BIZ新宿4階)

詐欺被害防止

一言アドバイス

「迷惑防止機能付電話機」のご活用を



特殊詐欺の被害防止には、「留守番電話機能の設定」「自動通話録音機の設置」「迷惑防止機能付電話機の活用」が効果的です。

「迷惑防止機能付電話機」には、▶非通知や登録をしていない番号からの着信に対して警告ランプや音声で知らせる、▶相手に警告メッセージを流した後に会話内容を自動録音する、▶着信拒否設定などの機能があり、家電量販店などで取り扱っています。詐欺の電話は、9割が自宅にかかってきます。固

定電話に対する対策をしましょう。

区では、「自動通話録音機」の無料貸し出しを行っています。詳しくは、区危機管理課または区内4警察署へお問い合わせください。

【警察署代表電話】▶牛込☎(3269)0110、▶新宿☎(3346)0110、▶戸塚☎(3207)0110、▶四谷☎(3357)0110

【問合せ】区危機管理課危機管理係(本庁舎4階)☎(5273)3532・FAX(3209)4069へ。

区内の特殊詐欺被害 認知件数(2月)

特殊詐欺の主な種類	件数
オレオレ詐欺	1件
預貯金詐欺	0件
還付金詐欺	0件
架空料金請求詐欺	0件
キャッシュカード詐欺盗	6件
合計	7件

※区危機管理課調べ

なるほど! TOKYO2020



東京2020大会をより楽しめる情報を、毎月ご紹介しています。

【問合せ】東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課(第1分庁舎7階)☎(5273)4220・FAX(5273)3931へ。

パラリンピック女子走り幅跳び(T63クラス)で、活躍が期待される前川楓選手にインタビューしました



前川楓(まえがわかえで) / パラリンピック陸上競技女子走り幅跳び(T63クラス)

平成10年(1998年)生まれ。三重県出身。チームKAITEKI所属。

中学3年生の時に交通事故で右大腿部を切断。高校入学後、本格的に陸上競技を始める。18歳で出場したリオデジャネイロ2016パラリンピックでは、女子走り幅跳び(T63クラス)4位。

令和元年11月の世界陸上ドバイ大会で自己ベスト4m13cmを記録して4位となり、東京2020パラリンピック日本代表に内定。

パラリンピック陸上競技のクラス分けは、アルファベットで種目(例:Tはトラック・Fはフィールド種目等)、数字で障害の部位等を表しています(例:63は片足ひざ上・64は片足ひざ下切断等)。

パラ陸上との出会い

Q 競技を始めたきっかけは?

A リハビリの先生に勧められ、義足の方たちが走る陸上クラブに参加するようになったことです。最初は怖くて普通に走れるようになるまで時間がかかりましたが、初めて出場した大会で、久しぶりに風を切った感覚がすごく気持ち良かったです。結果は最下位でしたが、もう一度大会に出たい、1人でもいいから前の人を抜きたいと思い、翌日すぐに高校の陸上部に入部しました。

Q 困難もあったと思いますが、乗り越えられた要因は?

A 最初は義足のことは全く分からず不安でしたが、入院中に行われていたロンドン2012パラリンピックをテレビで見て、すぐに自分も同じようにまた走ったり、好きなことができるのでと前向きに考えました。また、リハビリの先生が励ましてくれたり、家族・友達など周りの方々の支えがあったので、つらい時でもあまり落ち込みませんでした。周囲の環境や人に、本当に恵まれていたと思います。

義足との一体感を見てほしい

Q パラリンピックの走り幅跳びの見どころは?

A 私は膝上の切断ですが、同じ義足でも膝下の切断とは体や義足の使い方が大きく異なります。また、同じクラスでも、足の長さの違いや他にも障害がある場合など、選手によって動きはさまざまです。義足をいかに自分の体と一体にして使っているか、選手一人一人の個性に着目してください。

Q 前川選手の強みは?

A 普段の練習から基礎を繰り返しやり続けることに自信があります。自分が今できないことと向き合って、できるようになるまで粘り強く取り組むことができるのが、強みだと思います。



撮影:日本パラ陸上競技連盟

選手も観客も楽しめる大会に

Q 東京2020大会に向けた意気込みを!

A 前回のリオデジャネイロ2016大会は自己ベストで4位でした。嬉しい気持ちと同時に、メダルにあと一步届か

なくて本当に悔しかったです。それから全てをかけて東京2020大会に向けて取り組んできたので、今回こそメダルを取りたい気持ちは強くあります。一方で、結果だけを追い求めるのではなく、走ることが楽しいという気持ちを忘れずに自分のパフォーマンスを最大限に発揮して、思い切り大会を楽しみたいと思っています。せっかく東京で大会が行われるので、家族や友達、そして応援してくれるたくさんの観客の皆さんにもぜひ楽しんでもらって、素晴らしい大会になってほしいと思います。

Q 区民に向けてメッセージを!

A 新しくなった国立競技場を早く走りたくて、楽しみな気持ちでいっぱいです。新宿に住んでいる皆さんに、「観に来てよかった」「カッコ良かった」「楽しい大会だった」と思ってもらえるように、私たちパラ陸上の選手も精一杯頑張ります!ぜひ国立競技場に応援に来てください!

